

初めて連絡させていただきます。  
私、〇〇学部の学生ですが  
先生のご専門に関心があって、  
ぜひお話させて頂きたいのです。

というメールがきたら教員は嬉しいと思う。  
そしてそういう機会は、今、京大に足りないと思う。

## 学問に熱心な京大生との対話促進支援サイト その名は、「問答 mondo」。

共感いただいた先生方には簡単にご登録をお願いしたいです。

詳細は裏面

The screenshot shows the 'mondo' website interface. At the top, there's a navigation bar with 'mon do 問答' and '学問に熱心な京大生のための対話場あっせん'. Below this, a search bar labeled '学問' and a button '先生を探す' are visible. A sidebar on the left shows '登録教員数: 4'. The main area displays a grid of faculty cards, with a callout indicating that cards for faculty directly related to the input keyword are shown. A legend at the bottom right categorizes faculty by field: 総合系 (General), 人文社会系 (Humanities/Social Sciences), 理工系 (Science/Engineering), and 生物系 (Biology). Below the main grid, there are sections for 'ダイレクト検索結果' (Direct Search Results) and '関連フィールド検索結果' (Related Field Search Results). The direct search results show categories like '[情報学] 人間機械系 / 運転支援システム / 不利益' and '[産学連携] イノベーション / イノベーション政策'. The related field search results show a callout indicating that related words and similar specialized fields are displayed in separate tabs.

先生方に専門分野をご登録いただき、学生は自身の質問と関連する先生を調べ、  
該当する先生に対話を申し込むことができるシステムです。

- 登録の対象は、本学に所属する教授、准教授、講師、助教、研究員（いずれも特任、特定、特命も含む）
- 先生方の個人情報はサイト上には掲載されません
- ダイレクトに先生方に質問内容が届くわけではありません（事務局側で事前面談します）  
事務局の担当教員のほうで学生の質問を精査したのち、事務局側から先生に連絡をいたします。極端な予備知識不足や調べたらすぐわかるような質問、勧誘など学問以外の意図などの質問を事前に排除いたしますので、安心してご登録ください
- 初年度につき全くの推測ですが、ご登録いただいた後、実際に質問者が現れることは年に数回あるかないかだと思います（時事的トピックは別として）

「京大 問答」で検索。または、学際融合教育研究推進センターHPより

<https://mondo.cpier.kyoto-u.ac.jp/>